

令和6年度タウンミーティング懇談録（筑波会場）

日時：令和6年5月18日（土） 14:00～15:30

場所：市民ホールつくばね

参加者：市長 ほか 参加者 23名

<懇談録>

○参加者1

仮定の話で申し訳ないんですが、今、世界でウクライナが戦争して、それからイスラエル。例えば、五十嵐市長がその党首の立場だったら、負け戦をやっているわけですよね。それで政治家が一言目二言目には、生命の財産を守る、必ず言うわけですよ。市長の立場だったらどんな判断をしますか。それを聞きたかった。

●市長

私が例えばウクライナのキエフ市長だったらみたいな話ですか。ウクライナのキエフの市長だったらという、例えば。

○参加者1

いや、大統領。

●市長

あ、大統領。どこの大統領ですか。

○参加者1

ゼレンスキーです。

●市長

あ、ゼレンスキーですか。

○参加者1

大きくいきましょうよ。

●市長

あの、これはでも、私実はですね、安全保障というのを大学時代に勉強してい

たんですね。で、ロシアが膨張するということは、歴史的に繰り返していることなんです。それは地勢学という学問的に見ても、ロシアは、西側に、もう伸びていかざるを得ないということが分かっていたので、そういう意味では、もう少し事前に、私がゼレンスキーや、その前の大統領だったら、備えるべきだったんじゃないだろうかというのは、正直思っています。実は2014年にも同じようなことがあったんですが、その時にウクライナの備えは全く無かったんですね。ですので、そこでの反省をいかして、アメリカが主にウクライナに入って行って、その備えをしたことによって、今実はウクライナはきちんと戦えてるという状況がありますので、やはり、常にやっぱり備えるということが、リーダー、指導者にとっては最も必要なことですので、当時はゼレンスキーはまだ大統領じゃなかったんですけども、私であれば、まずそういう風に、物事にどんな状況にも対応できるように備えなくちゃいけない、そして、やはり領土の拡張というのは、黙ってそのまましてしまうというのはやっぱり許されないですね。為政、政治を為す者として、それは何が起こるかっていうと、次はですね、やはり、その国民が、当然奴隷のような状態になっていくわけです。これは虐殺も残念ながら、許されませんが起きています。例えば女性などは、レイプをされたりですね、様々なことが起きているので、それで、はい諦めますと、どうぞどうぞということというのは、政治家としては判断し得ないことと思っておりますので、その分も備えをきちんと、それから、日頃からそういう時にちゃんと助けてくれるだけの仲間を作っておく、ということがトータルでは、求められることだろうと思っております。ちょっとパレスチナについては実は構造が全く違いますので、少しそういう話とは違うんですけども、いずれにせよ、リーダーとしてすべきことは、有事に備えるだけの力をつけておくことだと思っておりますし、今日はそのタウンミーティングですので、市についてお話をすれば、例えばコロナという前代未聞の状況だったんですけども、あの時私がしたのは、とにかく専門家の話をまず色々聞こうということで、色んな情報を得まして、どうもその時から分かっていたのは、専門家からすれば、これは2年、最低2年、まあ3年は続くという話で、長期戦になると。さらにいろいろ変異をしていくという、かなり早い段階でいろんなことを教えてもらって、それに合わせて、どういう状況を作るかということ、考えてですね、備えて比較的、例えばコロナの対応については、市民を守るために、その時その時の状況に応じて、働きかけが出来たんじゃないかというのは、私というよりは専門家の方から、つくば市の対応は、それなりに御評価をいただくようなことができましたので、リーダーの仕事はそういうことだと思います。ちょっとお答えになってるかどうか分かりませんが。

○参加者 1

ありがとうございました。もうちょっといいですか。

●市長

どうぞ。はい。大丈夫ですよ。

○参加者1

そんな、今市長がお話したのは本当の優等生の話だと私は思う。ただ、ゼレンスキーみたいに始まる寸前まで行っているのにね、もう財産はなく命はなく、明らかにわかってるわけですよ。それでも市長はやっぱり、ロシアに向かって戦いますか。

●市長

戦わないと何が起こるかということなんですよね。

○参加者1

いや、戦わない方法を精一杯探るんですよ。だって、過去の第2次大戦だってそうでしょ。うちのおふくろなんかよく話すのは、「兵隊さんが威張っててね、好き勝手言って戦争すんの。一番困るのは私ら子供6人抱えて、女子供だったんだよ。お前ら分かるか」って盛んに言われましたよ。そういう気持ちで私は市長に聞いている。やったら駄目ですよ。だからそれ市長言ってくれないと。絶対やらないことを考えるんですよ。

●市長

戦争を回避するのが、当然政治家の仕事ですし、戦争っていうのは、外交の失敗なんです。ですので、私がさっきお話したように、回避をするための努力を事前に備え…

○参加者1

分かってます。それは聞きました。ただ始まっちゃったんだから。もう向こうから攻めてくるんだから。こっちが攻めてるから、向こうから打つ。こっちも打ち返す。これでもう戦い始まっちゃうんですよ。その前の方法っていうのは、絶対あるはずなんだよね。駄目かもわかんないけど、自分の命懸けたって国民と財産を守るのが私は市長であり、国の大統領総理の仕事じゃないかというふうに思うんです。過去にそういう歴史を持つてるんだから日本は。

○他の参加者

それは個人的意見じゃないですか。それはあなたの個人的意見じゃないですか。

○参加者 1

いや意見だけど市長の考えを聞きたいって言うてる…

○他の参加者

いやちょっと私語を市長に…

○参加者 1

あなたに聞いてんじゃないよ。

●市長

はい。ということで、考えはいろいろあると思うんです。私は、とにかくリーダーの仕事は、備えを作っておくということで。私はそもそも、どうやったら世界平和になるかということを考えて、それを現実で学ぶために、安全保障のいろんな勉強をしてきて、それが今こういうふうにして展開してるので、戦争をしちゃいけないという意味はおそらく、相当一般的な政治家と比べてもかなり強いものを持っています。それをどう具体的に備えるかと。ただ、やめましょうというだけじゃ止まらないので、それを実践する方法を常に考えていくということで、御理解をいただきたいと。タウンミーティングなのでこの程度にして。

○参加者 1

これ以上はちょっとしつこいのでやめますけど、残念な結果に市長も選ぶようなことになっちゃうのかな。

●市長

そうならないように備えるというのが私の思いです。

○参加者 1

ゼレンスキーだってならないようにやってきたと思う。だけども、何万人何万人、何十万人って人殺してるわけですよ。私は殺人の罪もあってもいいんじゃないかなと思うんだけど。

○他の参加者

話が長いよ。

○参加者 1

もう終わりにしますね。どうもありがとうございました。

○参加者 2

実は私一昨年も、9月に親の介護のために、Uターンしてきて、もうそれこそ40数年ぶりにつくば市に住んでるんですけども、この北部の地域というのは、つくば市とはいえ、忘れられてる地域なのかなと思ったりもするんですけども、まあ先ほど市長のお話を聞いて、中心部には中心部の意見があるということなんですけれども。まず、先ほど市長がおっしゃった備えに関してなんですけれども、この辺の地域っていうのは小高い丘に囲まれて、北は筑波山、盆地みたいな地形になっていて、ハザードマップとか見ると、ほとんどピンクの地域なんです。そうするともう床上浸水とか、そういうこともかなりの確率で想定される地域なんですけれども、防災訓練としてN高S高、田水山小学校とか。こっちのほうの地域ですよ。これでもう研究所の南側の土地を防災の拠点とする、そこは避難所とか、そういうものの役割も果たすんですかね。

●市長

ここは避難所機能は基本想定していなくて、有事の際に自衛隊の皆さんとか消防とか警察が集ってですね、対応の基地になるような、そういうイメージの場所で、さらに防災の物資がありますので、今、実は防災の物資自体ですね、上郷高校の体育館に入れていて、それこそ耐震基準を満たしてない場所に入ってるという良くない状況がありましたので、そういうふうなことを解決していくということです。はい、避難場所としてはちょっと別ですね。

○参加者 2

備えっていう問題で、やっぱり日本って未曾有の災害が起こった時に、もう何年も何年も体育館に布団を敷いてっていうような、生活を強いてね、つくば市としては、その辺はどういうふうに、何て言うんですか、個室っていうか、パーティションを用意したり、プライバシーを守ってもらえるような備えとかそういうのは市としてしているのかどうかを知りたいんですね。

●市長

はい。ありがとうございます。まず、避難の仕方なんですけども、それは今、特にハザードエリアの皆さんには、地区ごとにお話し合いをしていただいて、防

災計画というのを考えていただいています。議員さん方も、そういう所に一緒にいらっしゃってですね、一緒に考えてくれてるんですけれども。例えば、いきなり避難所に行けるケースばかりじゃないわけですよ。一時避難所として、例えばこういう場所にあったら、誰がどういう風に物を用意するかとか。それから、実は避難所っていうのは絶対行かなくちゃいけないわけじゃなくて、垂直避難をした方が、良いようなケースがあるわけです。簡単に言うと、2階に避難すれば、むしろ避難所に行くよりも良いような状態がありますので、そういったふうに、それぞれの方が、御自身が有事の際にどういう行動をとるかというのを考えていただく、プロセスがすごく大事ですので、その中で備蓄のお願いをしたんですね。それこそ、どういうものを日頃から持っていて、そして雨の時はどうするかとかですね。地震で家が崩れたら、それはもう避難するしかないわけですけれども。そういう備えをしています。パーティションは必ずしも全部あるわけではなくてですね、ただ、これから、こういったものをどう充実させていくかということも、一緒にやっていかななくちゃいけないですし、特に、東海第2の関係なんかで言うと、遠くからの避難とかも、どういうふうに受け入れるかみたいなことも、やらなくちゃいけないんですけれども、そういう議論をしながら、やっぱりスフィア基準と言うんですけれども、避難所である1人のスペースを十分に確保をして、そして人権やプライバシーが守られるような形での避難所を造っていくような準備を、着実にそっちの方向で今進めていってるという状況です。あわせて、ペットの避難なんかも、これ実は大きな問題になっているんですが、つくば市災害の時は、例えばここはペットの避難所でいいですよというようなことも、台風19号の時なんかは、今から4年ぐらい前のものなどは、やっぱりそういうお声を事前に予期していて、やっぱりペットはどうしても車中泊しなくちゃいけないみたいになっちゃうので、ここはペット連れてきて大丈夫ですよみたいなエリアを作ったりとかして、そういう意味で、プライバシーや人権やその人の大切にすることをきちんと守りながら、避難できるような環境は備えていかななくちゃいけないと思っています。

○参加者2

ありがとうございます。

●市長

もう1つ言うんですね、決して忘れていません。最近、皆さんの実感は違うと思いますけど、最近ですね、むしろ言われるんですよ。最近ちょっと筑波地区ばかりじゃないって言われるんです。本当にいろんなゲートパークもそうですけど、こういう学校跡地の利用とか、いろいろ筑波山とかね、今日地元

の鈴木県議もいらっしゃっていますけども、神谷市議、小久保市議、鈴木県議と相談しながらいろんな事業を進めているので、筑波地区に偏ってるよねとかって言われるんですよ。いや、皆さんの実感は違うと思いますけど。うちのほうは何も無いじゃないかって、またね、別の地区行くと言われて苦しんでるんです。ですので、どこも見捨てたり、忘れたりはしていません。ただ、事業のタイミングとかですね、やっぱり地元をまとめていただける議員さんがいるエリアというのは非常に事業が進みやすいなということ感じています。はい、一生懸命頑張ります。

○参加者 3

小田地区から質問します。小田地区はですね、ここ数年の間、非常に共同住宅、アパート、こういうものが出来まして、あるいはその中に入っている方が、一戸建ての方にお求めになって移るといような、そういう状況で、世帯数からいった場合、110 前後だと思んですが、こういう方が、新たに新住民として入って来ました。こういう方は、皆さん本当に若い方たちで、これから子育てをする、そういう方だと思んですが、そういう中で、こういう方の幼児の受け入れについて、どのようなお考えを持っているのか市長にお伺いしたい。それに合わせて、同じような期間の間に小田の保育所、これを市長は廃止を決定しました。でも新しく入った方は、そういうことは、ほとんど知らないと思うんです。そういう状況なんです、その受け入れですか、それについて市長としてはどのようにお考えになっているかお伺いしたいと思います。

●市長

はい。小田の保育所については、そもそもが、耐震基準を満たしていない状況があったわけですね。子供が育つ場所なのに、耐震基準が満たされていない。それが、しかも実はそのままずっと放置されてきていたので、私市長に就任して、そのことを知って本当に驚いて、これはもう早急に対策をなくちゃいけないだろうということで、いろいろと事業を進めてきました。その保育所を耐震工事をすれば済むことはやりますけど、あまりにも老朽化していたりするところについては、新しくすることの方が望ましいだろうと。それで、すべてがそのエリアの中になくとも、近くでカバー出来るだろうということを考慮して、公立保育所が、5キロ圏内にどういうふうにあるか、そういうものを全部分析して、地元の皆様といろいろ御相談した上で、小田の保育所については廃止をさせていただくことになりましたけれども、その筑波エリアでですね、公立保育所と言えば、北条保育所というのは、まさに、耐震に加えて土砂災害警戒区域にも、あつたり

しましたが、北条保育所を上手く活用していくこともそうですし、沼田とか公立保育所もいくつかいかにしながらやっていくと。それから、民間の保育所はたくさんありますので、料金は変わりませんので、そういうことを活用していただくということ。さらに、今小田の児童館については、小田小学校…

○参加者 3

すみません、ちょっといいですか。耐震性の問題なんですが、これは何か強弱を考えた場合に、耐震関係のやつ、ちょっと市の方で調べたやつで、ちょっと見させてもらったんですが、極めてあの、なんていうんですかね、「かもしれない」ですよ。地震が来た場合、倒れる「かもしれない」ような状況で、非常に何か曖昧というより、何て言うか、そういうレベルの状態だから、ちょっとこう、この耐震性がないとか、じゃあ地震が来たら潰れるととるかもしれないんですが、どうも何か市長の言っていることと、実態の検査の内容では開きが大きいような感じがします。

●市長

はい、ありがとうございます。耐震基準というのは、0.6 という数字があつてですね、それが一つの基準で、そうすると震度6強が来たときに倒壊するリスクがあるということ。これはどこかで当然基準を作らなくちゃいけないですし、確かに、例えば東日本大震災でも、生き延びてる建物はあります。でも、そういうものを繰り返していると当然建物はダメージを受けているわけですね。ですから、やはり先ほどお話ししたような数値は、次大きな地震が来たら、倒壊する危険性があると。危険性があるということが分かっているのに、そこで、しかもすぐに避難できるような、パッと動ける大人ではなくて、0歳児から小さい子たちがいるわけですので、それをですね、そんなに倒れる「かもしれない」から、そのままにしておいていいというのは、私は備えるという意味でも決して放っておくわけにはいかないと思つてます。それで、今小田小学校の跡地にですね、また、地域の方の皆さんと児童館なども移していこうということになっています。実際、保育所というのは、その後働きに行かれる方たちですので、その勤務ルートとかに合っていれば、それこそあまり問題はなくてですね、公立保育所じゃなくちゃいけないというお声の一部ですね、議会でもあつたんですね。ある政党の皆さんから。でも実際は、ほとんどすべての方が、別に公立保育所へのこだわりというのはなかったんです。そのルートにあれば、近くにあればそれでいいということだったので、小田保育所を廃止したからといって、小田に住んでいる皆さんの子育て環境が悪化するかということ、決してそのような状況ではないということは、もうデータを見てですね、皆さんの移動希望とこれまでの傾向を見

れば、そういうものではないということはお約束を出来ますので、そこは小田保育所についても安心をしていただいても大丈夫ではないかと思っております。

○参加者 4

筑波山ゲートパークの関係とか色々ありがとうございました。(市長に資料を渡す) いま手元に旧北条駅を中心とした地図をお渡ししましたがけれども、緑で塗った部分、これは鈴木県会議員を通じて県の方にも要望しております。神谷議員にもお話をして要望としてやっていることなんですけれども、旧北条駅、旧筑波線の中で、土浦の方から、虫掛とか藤沢とか、つくばですか、それから真壁、駅前が、駅前というか駅が整備されているんですよ。唯一、旧筑波線沿線で比較的一番大きかったと個人的には思うんですけども、北条駅が全くもう手付かずにそのまま、節々騒然たる様なんですよね。これをやっぱり、北条地区の活性化を含めて、筑波山ゲートパークとあわせて、せっかくゲートパークがあれだけ活性化になってきたもんですから、今市長のお手元にピンクの線で入れたと思うんですけども、市道の拡幅ですね、それと県と協力して、県の土地である旧駅の用地をですね、何か活用していただいて、私の単純な考えでは駐車場がいいのかなと思うんですけども。そんなことで、ちょっと市と県でお互いに協力していろいろと活性化について協議してもらいたいなと思っています。

●市長

ありがとうございます。私もたまにりんりんロード走りますので、この状況をよく見てきていますので、どういうことができるか皆さんと考えたいと思いますが、今日せっかく神谷市議もいますし、鈴木議員も。どうですか、なんか神谷さん一言。鈴木さんも一言。ここについて。

○神谷市議

以前、鈴木県会議員一緒に代表区長と現場を見させていただいて、例えば旧筑波駅なんかは、だいたい県の予算も入れていただいて整備が進んでいますので、本当にりんりんロードを利用する方も増えていて、一昨日あたりも以前にもテレビなんかのニュースでも藤沢であるとか田土部ですか、あの辺も撮影もあつてだいたい整備も進んでいるなというところもありますし、そういったところで区長さんもあのエリアをもう少し、北条の街の行き止まりということではなくて、もう少し使えるような状況にしながら車の話題も出来るような環境にしていきたいという話をされていますので、そういったところも今県の方とも協議を進めているところでございます。

○鈴木県議

本当にいろいろ教えていただきながら見させていただいて、北条駅舎跡地に関しては、長年の課題でして、放置をされていて雑草から雑木まで生えている状況でして、土浦の土木事務所で管轄をされていて、管理はされていない状況なので、これは自転車活用をつかさどっているのが、県の生活環境部の方でして、担当課にはもう話はしてあります。おっしゃるように、今年は筑波駅跡地のりんりんロード沿いの沼田地区とか、リニューアルされますのでそれをまず見届けてから北条という、いよいよその段階になってきたと思っています。おっしゃるように、何かこう建物を建てて管理するというよりも、まずはそこを更地にして舗装してパークアンドライドとか自転車をそこで組み立ててりんりんロードを走るといような拠点にしていけるように、ということでお話をしております。宿題でいただいているゲートパークとのアクセスの考慮に関しても、あるいはサインの設置ですか、に関しても充実していくようにということで動き出してはいますので、ぜひその都度ご報告させていただきますので、よろしく願いしたいと思います。

●市長

はい。よろしくお願ひします。しっかり県と連携しながらやります。実はこの間りんりんロードを走っている方からの話で、すごくショックを受けたんですけど、りんりんロードを走っている人が、新しくゲートパークできたっていうのを、そんな施設できたの？全然知らなかった、とですね。看板とかですね案内も出してはいるんですけども、ちょっとわかりにくいので、まさにそのゲートパークとの接続というのをきちんと考えなくちゃいけないなということ、今看板は今年順次設置をしていくんですが、自転車の人にとってもわかりやすいものにしていきたいと思っています。はい、しっかり皆さんと御相談しながら。ありがとうございました。

○参加者 5

お世話になります。今、小田はですね、小田城址がやっとひと段落という状況でオープンしているんですけども、それに伴ってですね、いまお話ししていた保育所が令和7年になくなる、それから児童館が小田小学校跡地にうつる、そうするとあそこのスペースがあきますね。それから、今宝篋山の登山口がほしい、年間9万人以上の方がみえてる、それから、小田城址の案内所もいま稼働しているという状況で、これから先の話なんですけど、あの地域を一体化した考え方で、

もうちょっと観光地化というかね、そういう風にするような計画はいかがでしょうか。

●市長

はいそれはもう地元の方のご意向が一番大事ですので、よく御相談しながらエリアを考えていきたいと思いますが、小田については全部小久保議員に相談しながら進めていますので。どうでしょう、小久保さん、小田エリアをより観光地化に向けての何か、地元の方から御意見等あればちょっと。

○小久保議員

非常に宝篋山は人気で、大変春のシーズンにおいても大変登山のお客様が非常にみえてます。そういう中においては、やはり市の方で、大変駐車場の整備ということで、中部地区に整備を数年前に進めていただきましたけども、大変土日は、実はもう満車状態です、やはり先ほどありました小田城、あるいはその周辺一帯として考えた場合にですね、3月の議会でも同様の質問をしましたがけれども、公有地化した土地についての活用というのは、地域一体として考えることが非常に必要だろうと思っています。ここについて例えばいわゆる保育園だったりとか小学校のプールだったりとか、そういった公有地化した土地をどういう風に活用していくかってところを模索していけたらと思います。

●市長

やっぱり今、使われてない施設、今プールの議員の話もそうですけど、ちょっとそのままになっている状況がありますので、使わないものは、実は来年度予算、これ議員方からも言われていることですので、少し早めにですね、解体をもう進めていきたいと。明らかに使わないものですので、そういうところを考えてそこを、まさに駐車場がいいのか、何かまた別の形で活用していくのがいいかといったようなことを、これもやっぱり地域の皆さんが一番状況はわかっていらっしゃるんで、地域の皆さんとよく御相談をしながら、取り組み進めていきたいなと思っています。

○参加者 5

よろしく申し上げます。

●市長

せっかくね、大河ドラマもね、八田知家が出てきたりね。あの御城印というのも作ってですね、小田城の御朱印のお城版の御城印なんかも結構好評で、売れた

りしていますので、そういうものを、いろいろ活用しながら何かそこから小田氏治の何かが出てきてもいいし、八田知家の何かが出てきてもいいし、地域にまつわるものなんか繋がっていくのも面白いと思いますので、丁寧にやっていきたいと思います。ありがとうございます。

○参加者6

私の方からちょっと身近な件なんですけど、この広報つくばの関係なんですけれどね。最近やはり近隣の人たちにですね、広報つくばは非常にカタカナの言葉が多いねということで、私もそれは感じているんですね。実際、今回の5月号も読んでみましたが、私の勉強不足もあるかもしれませんが、例えばですね、インタークルーズ公園とかですね、スクールロイヤー、あるいはホームスタート事業というような、こういう言葉が主要施策の案内の中に出てきているんですが、文面の前後からして多分こういうことかなってことで理解はしたつもりなんですけど、どうしても気になって。その都度電子辞書でですね、私いつも見て、あ、こういうことかと対応しているんですが、この広報つくば、たぶんこういう紙媒体ですと、読まれる方はやはり私くらいのいわゆる高齢者に近い…もう高齢者ですね、そういう方が読まれているのが多いのかなと思うんですね。ですから、もし、こういう初めて捉えるような言葉が出た場合、よく新聞等には番号があって下に注釈、そういうあれがありますよね。そういうことやっていただけると非常にありがたいなって気がするんですが。

●市長

いやもう、申し訳ございません。通常ですね、カタカナの意味チェックを必ず入れていたんですが、今回、あれ…今回どうだったかな。なんか、ちょっと抜けちゃったかな、今回ひよとして。

○広報戦略課長

申し訳ございません。今回はですね、事業紹介ということでちょっと至らぬ点がありました。申し訳ございません。

●市長

かなり必ずカタカナは、括弧書きで意味を入れたり、長い説明になる時は、米マークとかをつけて、何々っていうふうに解説しているんですが、やってたんですが、いや、今御指摘をいただいて初めて私も、あれそうだ書いてないと思って、反省をしているところですので、これは、また、ちょっと気をつけていきましょ

う。すみません。ありがとうございました。そうですね、本当ですよね、インクルーシブ遊具と言われても分からないですよね。

○参加者 6

タウンミーティングだってそう。

●市長

タウンミーティング。タウンミーティングもそうか。そうですね。どこまでがカタカナ語としてなっているか、なっていないか難しいところなんですけど。極力カタカナ語は少なくしようとは、市役所の中でも話はしていて。大変すみません、ありがとうございました。

○参加者 5

つくば市内には、ケーブルテレビがありますね。旧筑波町には来ていないんですよ。桜川を境にですね。あれをこちらに引っ張ってくる方法って何かありますか。

●市長

これはですね、荃崎の方からもお話をいただくんですが、ケーブルテレビの経営の判断なんで、なかなか今ケーブルテレビが新たに設備投資が出来るかという、ちょっとそこまでではないのかもしれないですね。

○参加者 5

もう 10 年ぐらい前に調べたことがあったんですが、その時は、200 件ぐらい入ってもらえれば OK 引きましょうか、っていう話があったんですよ。あのテレビを引くと、そのテレビの回線を使って、パソコンでインターネット繋げるし、わりかし割安な条件になるので、もしそういったチャンスがありましたらよろしくお願ひしたいと思います。

●市長

インターネットをお使いになりたいから、やっぱりケーブルテレビがあった方が良くということですよ。

○参加者 5

それとですね、いま電子回覧板ですか、ああいうものを進めていく上で、あれ

もちょっと利用価値があるんじゃないかなと思っているんですよ。スマホで見る画面よりもテレビで見る画面の方が大きいので、回覧板を見るのにも非常に都合が良いと思っているんですよ。

●市長

ちょっと200世帯という話を私も聞いたことがなかったんで、ちょっとACCSに問い合わせしてみて、200世帯だったら十分集まっちゃう気がしますけどね。

○他の参加者

関連して、ケーブルテレビについては、北条地区で15年くらい前に、ケーブルテレビを入れようということで、とりあえず北条の仲町地区の住民の意向調査をとったんですよ。そしたらたら駄目だよと。それだけの人数が集まらないということで、結局計画がポシャってしまったんですね。だから、そういう計画があったんですけども、北条の一番先に…

●市長

どのエリアで200人集めるんですかね。小田で200人とかなんですかね。それだとちょっと大変ですよ。

○参加者5

小田だけじゃなくて全体じゃないかな。ケーブルが1本、桜川を超えてくれば、それから派生してケーブルがいてもいいんであつて。

●市長

それはいきそうですね。

○他の参加者

ある程度集積しないとダメだっていう…

●市長

ちょっと詳しく調べてみますので。ありがとうございます。ちゃんと確認してみます。

○参加者3

小田地区って周辺市街地の一つに指定されていますが、行政サービスが非常

に何かこう、他の市街地から比べて非常に希薄なような薄いような感じがします。ですから、できれば、いくつもお願いしたいというわけにもいかないと思うんですが、窓口センターの支所を、大穂でいえば吉沼ですね。あの程度のものを小田地域に設置、可能でしょうか。周辺市街地に指定されていても、固定資産税だけごっそり取られて、行政サービスについては非常に見劣りするような感じがするんですが。できることならやっぱり窓口センターの支所を。もう一つは、交流センターについては、立ち寄るところでありますから。これをですね、今の段階で一業者に丸投げされてるようですが、これをもう少し役所の方で管理してもらい、地域の皆さんが気軽に使いやすいような方法を考えてもらおうとか、その辺のところですね。以上です。

●市長

窓口センターはちょっと申し訳ないですが、厳しいなど。ここにありますので、たぶんほかのエリアだともっと遠く…小田からこの窓口センターまで車で何分くらい？

○参加者 3

小田とここでは3キロですので。それと小田の方は意外と窓口センターについては大穂を使う方が多い。

●市長

そこまで窓口ニーズがあるかと言われると、ちょっとそういう風な。要は、窓口は毎日来るような場所ではないと思いますので。そういうものは、こことか大穂を使っていただいて、ただ周辺市街地の取組というのは、本当に地域の皆さんと一緒に進めているものですので、小田小を一つの起点にして、さらに観光案内所もありますし、先ほどの話の小田城もありますし、逆に言えば、ほかの周辺市街地には無いようなものがあるわけですね。ですので、小田は小田の良さをいかした形で、活性化を地域の皆さんと取り組んでいくということが私は必要だと思っていますので、窓口という形ではなくてですね、今進めているような取り組みとか観光の取り組みとか、そういうことを軸に地域を盛り上げていくという方向で考えたいなと思っていますので、ちょっとすみませんが、窓口センターについては、御容赦いただければ。

○参加者 3

小田城の草刈りは1年に3回やっていて、予算は2,500万円かかっている。現地見ると、本当草刈りやって1か月くらいはきれいですが、もうほとんど草が

一ボ一の状態ですよね。ですから管理事務所的なものを置いて、常時目立つところだけでも草刈りやっているような方法をとれば、もう少しきれいな状態で管理できるんじゃないかなと。それと堀ですね。堀そのもの見たらもともとあそこの中に山からの自然の水が流れ込んだやつを排水路で、桜川の方に流してしまっているような状態ですが、あれやっぱり水を少しかう、まあ危険性もあると思うんですが、薄くこ入れることによって鳥とか色々草花とかそういうのが出て、もう少しきれいになるんじゃないかなと。あまりお金かかんないと思うんですが、そういうことについても検討してもらえればありがたいなと考えております。

●市長

どういことができるか色々考えていきたいと思います。なかなかね、草刈り、本当あつという間に伸びますからね。大変なんですよ。3回、通常2回なので。少し多めにやっているんですが。ありがとうございます。

○参加者6

非常に評判がよろしくないマイナンバーカードについて、私も個人的にはポイント欲しさでカード作って持っているんですけども、今まで利用したことは全く無かったんですが、たまたま家族、遠くにいる家族から印鑑証明が欲しいってことで印鑑証明を取ろうと思って。その時に記憶の片隅に、マイナンバーカードを使えばコンビニで印鑑証明が取れるっていうのをかすかに記憶していたのでちょっと調べてみたら、使えるということで、印鑑証明を金曜日に欲しいと言われて、日曜日に取りに来るという状況で、市役所にこれから行っても間に合わないしどうしようと思ったんですが、マイナンバーカードを使えばコンビニで印鑑証明が取れるということで初めて使ってみました。非常に利用価値があるなと初めて実感したんですけども、その辺の、私はたまたまそうやって使いましたけれども、つくば市で、どの程度そういうものが利用されているのか。あとは、広報ですね。私も使う機会がなかったんで気にしたことがなかったんですが、どの程度の広報がされていて、使われているのか。ちょっとその辺を聞かせていただければ。

●市長

使っていただけたことはありがたいですし、もう我々としては全力でマイナンバーカードのコンビニ交付にシフトして行って欲しいなというのが願いとしてあるので、かなり常に周知は頑張っています。たぶん皆さんには届いていない

とは思うんですけども。そうやってお耳に、記憶にちょっと残っていたのは良かったなと思うんですが、1年前かな？2年前か。コンビニ交付をマイナンバーカードで取ってもらうようにするために、1年前か。10円にしたんですよ。住民票の取得とかを。とにかく体験していただきたいと。その時に、結構増えました。今ちょっと数字がね、3割いってないくらい…ちょっと誰かが調べてくれたら分かると思うんですけども。まだまだ利用率、もうちょっといってたかな。今ちょっと数字出ますかね、つくば市のコンビニ交付。確実に増えています。一度使っていただければ、多分もう二度と役所に行こうとは思わないと思うですよ。もうこれからはコンビニで、夜中でも、23時まで取れますので、そういう風になっていくし、コンビニの方が100円（※50円）安いし、というようなことがありますので、それをもっともっと周知したいなと思って。実は市報でもたまにコンビニで取れますというようなのを時に載せたりしてるんですが、その周知をしていくと、本当そうすると役所にも来ていただかないので、役所もすごい混んでるんですけど、それが緩和されたりするんで、みんなに良いことがあるんですね、これ使ってもらおうとね。

○参加者6

安いんですよ。

●市長

そう、料金も安いんですよ。本当はもうこのままコンビニもっと安いままにしたいんですけど、まあ一旦これくらいの金額にしているんですが、ぜひその体験を周りの方に話していただくと。一番新しい数字でだいたい7万件弱出ていますので、まあまあかもしれないですね。窓口で印鑑証明出すよりは、コンビニ交付。コンビニ交付って印鑑、住民票とか税証明とかを除いて全部入っているんで、ちょっと色々なサービスですが、かなりの方々が使い始めていただいているんだろうなとは思っています。ぜひ、お知り合いの方に、マイナンバーカード便利だったよと言っていただけると、そうやって広まっていく。ぜひ皆さん、役所来なくても今いつでも、23時までには使えますから。慌てた時も使っていただくと本当便利ですので、よろしくお願いします。

○参加者2

何度もすみません。学校跡地の3つ、ゲートパークとジンの蒸留所と文化拠点ということで、その辺が全部完成した時には、点でのアピールではなく線として一つの観光というか、そういったもので結ぶアピールの仕方をしていただきたい

いなと思うんですね。やっぱりさっきの忘れられた地域じゃないんですけれども、この辺りをサイエンスシティといっても、やっぱり高齢化してるし無理があるので、であれば、つくば市の観光拠点としてもっと大きくアピールして、自転車乗ってる人たちにも、線で結ぶようなマップを作るとか、りんりんロードだけではなくちょっと逸れれば何がありますよというようなものがわかるようにアピールしていくのがとっても大事なかと。はい、箱を作りました。じゃあ誰が来るんですか。どうやって来るんですか。もうそれで終わってほしくないの、せっかくお金もかけるわけですから、例えばつくばスの北部シャトルのバス停の1か所を増やすとか田水山小に通じる近いところに増やすとかとかそういうことも含めて、線で結ぶ観光を考えていただければなと思います。

●市長

ありがとうございます。ものすごい大事な視点だと思います。実際はそういう思いを込めて筑波東中学校の跡地は、筑波山ゲートパークと、入口にして、そこからいろいろなところに行ってもらいたいということがあります。これはジオパークも含めて、ジオのサイトに、ここからどんどん行ってほしい、これまだ出来てませんが、出来てきますと当然ゲートパークにもそういう案内をどんどん出していきなさいなと思っておりますし、実は線で、というところは、今新しく観光のルートを作ったんですね、モデルルートを。もうすぐ冊子が出来てくるんですが、それは必ずしも筑波山に限定したものではないんですけども、まさに周遊をしてもらうための、コースが必要だろうと。特に自転車に乗る方にとっては、もうこの辺の距離はあつという間の距離ですので、そういう皆さんに周遊のポイントとしてこういうのが出来てきたら、モデルルートに例えば追加していくようなこととかをしながらですね、エリアとして。で、それが皆さんが通った思い入れのある学校がこんな形に今活用されているというようなことも含めて、紹介をしていきなさいなという風に思いますので、まずはこういうものが出来てきたらですね、ゲートパークに、そういう案内をどんどん置いていきなさいなと思っております。まさに大事な視点だと思います。ありがとうございます。

○参加者7

私ちょっと地域のものじゃないですけど、今の周遊型の観光について、一つだけ教えていただきたいんですが、なんかすごくいいアイデアだと思うんですが、それぞれのゲートパークとか蒸留所とか文化芸術拠点については、その管轄というんですかね。市役所の管轄というのは全く同じ部署でされているんでしょうか。

●市長

学校跡地をどうするかというのは、いま、公共資産利活用推進課という課がやっていて、ただその先、例えば筑波山ゲートパークとなると、今度自転車の部署とジオパークの部署が管轄をしたりですね、クラフトジンの蒸留所は民間の施設なので、所管という感じにはならないと思いますが。文化芸術拠点は、文化芸術課が所管しています。

○参加者 7

何か別に、うまくいってればいいんですけどね。結構いろいろ市役所の方とお話をしていると、縦割りって言い方悪いんですけども、なんかこういう周遊型のものを作るときに、ここの部署はよく知ってるけど、他の部署はなんですかそれ？みたいなことが結構あったりするんで、そういうことを、今お話しを伺った、統括するような部署があるって聞いて、良かったなって思ったんですけど、一体とした事業というんですかね、そういうことを統括する部署とか、あるいは双方、部署間がやり取りをしていただくようなことでもいいかなとちょっと思っただけです。

●市長

おっしゃる通りです。市役所の職員でも、結構他の部署となると市の事業のことを知らないというようなことはありますので、それはもちろん研修とかはするので、一通りはわかっているんですけども、やっぱり必ずしも全部をカバーしているわけじゃなくて。いま周遊の話でいくと、これは観光部署があって、観光推進課という所管する部署がありますので、それはもう当然どこに何ができるとか観光拠点が何かというのは全部わかっていますので、その観光推進課の職員が、え、文化芸術拠点ができるんですか？みたいなことにはなりませんけれども。ただ、そうですね、場合によっては、やっぱり部署が違っていると知らないということがありますので、そういうことは無いようにという、特に部長クラスは、他の部のことも含めてよく理解するようなことには話は進めていって、随分改善は、これでも改善はされてきたと思っていますが、まだまだ課題はあると思っています。

○参加者 8

千現から来ました。真ん中なんですけどちょっと仕事の関係で、今日筑波の方に来て、まず1つはすごく地域の方々が真剣にいろんなことを考えてらっしゃ

るので、感動しました。それと、意外に思われるかもしれないんですけど、抱えてる問題は実は、筑波の人から見ると真ん中かもしれないんですけど私の住んでいる千現エリアっていうのは結構似てて、周辺みんな80歳ぐらいで、一戸建てに住んで、最近も連れ合いを亡くされた方とかそういう方たちがたくさんいらっしゃって、自分も若い方かなっていう感じで今ちょっと地域で、さっきも話に出た草刈りのボランティアをやっているんですけど、そういう80代のシニアの方と平日やったりとか活動しているので、結構状況は似ているんじゃないかなと。そこにさっき小田でも出てきたように、最近研究所の宿舎が、払い下げになって、URから払い下げてすごいたくさん新しく、一戸建てがたくさんできたり、あと駅の周りは、マンションがいっぱいできて新しい人たちが、多分すごいたくさん流入してきてるんですよ。やっぱり地域の文化とか歴史とか、あまり知らなくて、研究学園都市というイメージで来てみたら、教育がとか保育園がとか、もう全く同じような状況を今抱えている状況なので、1つの提案としてはやっぱり、タウンミーティングに出るようになって、ちょっと仕事の関係で他のエリアにたまたま出ることが多かったんですけど、結構抱えてる問題の根幹は同じような気がしたので、総合的に考えて欲しいなっていうのが1つ。2つ目は、真ん中真ん中とありますが、真ん中もつくばの駅と研究学園とみどりのとかも、抱えてる問題は全部違うので、R8、9、10も11もいるというくらい、みんな状況というのを市長はどう考えてらっしゃるのかなっていうのが2つ目です。1人1つなんだけどそういうことを聞きたいのと、あと観光に関して言うと、今の背景に近いんですけど、すごく筑波っていろいろ魅力があるって、若い頃は車で行ってたんですけど、足がないんですね。例えば80のおばあちゃんやおじいちゃんを連れて…連れてってあげたいんですよ。ゲートパークとかクラフトジンとか。どうやって行こうかなと思った瞬間に止まっちゃうんですよ。うちのバンで連れて行けるのは2人までなので。主人に頼んでっていうと、あと2人しか乗せてあげられないとかっていう状況なんですけど。そのシニアの人たちに、つくばの良さを知ってもらうために、何かこう周遊バスとか安くバスを借りられるとか、どんどん区会の活動が低下しているので、そういう何かそういう仕組みってないのかなとか。もし、つくば市の中で活性化してお金を回したければ、そういうことを考えて欲しい。もしも、私たちは東京にいた時もあるんですけど、東京から人を呼び込みたいのであるならば、線になったとしても、そこを全部楽しもうとすると日帰りがすごくきついんです。前これ市役所の集まりに行ったときに言ったんですけど、B&Bじゃない、すいません横文字で、安く泊まれる場所がつくばって無いんですよ。通り過ぎるか日帰りなんですね。なので、何か真剣に観光だったら、ここの北条の良さとか、小田の良さとか筑波山の良さをやるんだしたら、どこから連れてきて、どういう風にしてとっていうのが何か薄

い感じがして、拠点を作ってくれるんだけど、何て言うのかな。うまく回ってないじゃないかなって。さっきの発信と同時に、足ですね。泊まる場所がないんですよ。じゃあ車で行くのか。でも車乗っているとジンは絶対飲めないんです。ビールも、そういうのは飲めないんです。だからそういうこう、何て言うのかな、浅草みたいに周遊バスを回すのか、なんか泊まれるところとか、なんかこう運用面のノウハウをやるかいいのかなと。で、周辺から呼び込むとか。市内のそういう人達を回すのかとか、そこがやっぱりすごく見えてこないの、個人的には足をもっと作ってほしいなっていうのは思います。

●市長

はい、ありがとうございます。たくさんあったので、まずは、総合的にということはおっしゃる通りで、地域の課題って、本当に端的に表現すれば少子高齢化というのが、千現のエリアも含めて言えます。一方で、研究学園とかは、高齢化率が5%以下とかですから、ちょっとまた状況が違って、これは子どものほうなんです。ですので、R8に足すという文脈はまた、R8は既存の市街地、いわゆる既成市街地をどうしていくかなんですが、そうじゃないエリアについても、やっぱりなんというか、一括りにできないところがありますので、新しい学校を3年で6つ(※5つ)も作るころは全国的にも多分ほとんどないと思いますけれども、そういう対応をしながら、子どもとにかく今フォーカスしなくちゃいけないエリアもありますし、千現、私も梅園に住んでいますけれども、梅園と構造は相当似ていますが、並木、梅園、竹園、吾妻あたりはまたちょっと構造が違いますので、それぞれですね、どうしていくかというのは、実は今、都市計画マスタープランというのを作り直しているんですね。この都市計画マスタープランというのがまちの一番大きなビジョンなので、これに従って進めていくことになります。今まではとにかく、コンパクトシティだという話を散々書いていましたが、コンパクトシティという言葉はもうやめました。まあ、今まだ作っている途中なんですけども。なぜかというと、コンパクトシティとって、うまくいっている事例って、私もここ3人ぐらいの専門家といろいろディスカッションして、コンパクトシティ必要だよとかお話しされたので、「ちなみにコンパクトシティでうまくいっている街って、どこがあるんですか」と聞くと、具体的な事例はないんですよ。コンパクトシティって、言うほど簡単じゃなくて、例えば、皆さんが、筑波地区の皆さんがですよ、もうちょっとここ人口減少して大変だから、ちょっとみんなあっちに引っ越してくれとって、そんな簡単に引っ越せないわけですよ。だからやっぱりコンパクトシティ論っていうのは、土地の土地性のようなものを無視した机上の空論じゃないかと私は思っていて、ある程度都市機能を集積をさせて、皆さんが暮らしやすいエリアをいくつか作って

いくということは重要なので、このエリアで言えばですね、北条であったり、小田であったりがその一つの軸で、その一個手前の段階では、皆さんから先ほど出ている生活圏として、大穂の拠点がありますのでそこにどういう都市機能をもっと持たせていくかと。市街地、各市街地で生活をしていけるように、例えば公共施設も全部、学校があるか交流センターがあるかなど、全部リストアップして、そういうものをカバーしているところはOKだけど、していないものがあれば行政として投資をしようというような、ある意味初めて都市計画として意味があるようなものに今作り直そうとされています。その中で、それでも千現って実際は比較的いろんな都市機能が揃っているという街ではあるんですね。あの、エリアとして見たら。それを何キロ圏内として見るかっていうのはありますけども、そういうことを分析をしながら進めていっていますので、それが先ほどの研究学園、あるいはみどりのも、また全然違った構造の中で、課題がそれぞれ、新しい街っていうのは本当に新しい課題が生まれてきますので、それを大体予測しながら、今手を打って進めていってるところです。3つ目の、誘客とかそういう部分の足ですけども、これもおっしゃる通りです。ドライバーの問題なんですね。実は、バスも、私が市長に就任してから、相当増やしました。これも議員さん方にいろいろ御相談して、どんなルートを作ればいいのか、かなりやってきたんですが、この4月から、全く逆の動きをしなければいけません。それは何かというと、つくバスの減便なんです。平日は十数%、休日は33%の減便ということをしなくてはいけなかったんですね。なぜかということ、これは2024問題と言われていて、企業が残業させる規制がめちゃくちゃ厳しくなったんですね。企業は罰則もあると。つまり今までのように、一人のドライバーを長く働かせるということが不可能になってしまったので、ドライバーの数を確保しなければならない。でも皆さんも報道等でご存じのように、ドライバーがいないんですね。ドライバー不足なんです今。もう、関鉄にもお話をして、もう例えばお金や税金としてはもっと出すからやって欲しいと言っても、そういう問題じゃなくてドライバーがいないんです、と。ということで、それでもできるだけ通勤時間とかに影響をかけないように、何とかぎりぎり調整して、この数字という状況なんですね。ですので、本来ドライバーがもっといたりですね、自由に動ける、動くことができれば、まさに、飲みにいけると思うんです。私も行きたいです。クラフトジン蒸留所。まだできてないですけどね。近くには稲葉酒造さんとかね、新しい蒸留所を作ったりしてくれる。実は私も明日ですね、明日、海外から友人が来るので、連れて行くんですけど、これは公務じゃないですから、私自分で運転していくので、私は飲めない。本当にね、移動手段があればいいと思って。ぼやいてもしょうがないので、実はつくばは、まだ全国どこでもやってない仕組みを、今度新しく作ろうと思っていて、ドライバーバンクという

のを作ろうと思っています。実は国が今ちょっとだけ規制緩和をして、簡単に言うところライドシェアを少しだけしやすくしたんですね。海外のライドシェアと比べると全然違うんですけども、要は、タクシーとかバスは、2種免許を持ってないといけないんですけど、我々普通に持っているのは1種免許です。でも1種免許でもお客さんを乗せていいですよって言うふうに国が規制を緩和をしたんです。でもこれがまた中途半端なんですけど。でも、そのシステムを活用して、他の町もこの近隣で連携して、市で、1種免許の皆さんをたくさん募集をして、人を運んでもらうようなことを、ちょっと実験的に部分的に、それこそ筑波山なんかでも始めていきたいと思っています。ここでドライバーをしっかりと育てていって、この人たちが、例えば2種免許まで取れるよとなってきたら、今度またその支援を、免許を取る支援とかをして、とにかくドライバーを増やさない限りは、今、日本中の市町村長がですね、悲鳴を上げてるんです。もう地域の公共交通が崩壊してるか崩壊直前かって。私はある事業者の言葉を…崩壊してるって言ったら、地域の交通事業者さんがすごい怒っちゃってですね…何事だ！って。でも崩壊直前であることは間違いないですね。で、私も国の会議に呼ばれたりして意見を言ったりしてるんですが、まさにその交通の問題を解決したり、自由に移動して、お酒を飲んでお金を使って地域経済を使うためにも移動がないと始まらないわけです。ですので、私は、今、国で議論をしているライドシェアというのをもっとちゃんと新しい法律をしっかりと作って、皆さんが、ドライバーのね、トレーニングとかちゃんとしながら、自由に移動できる社会にしないと、もう、この国は沈んでいきますよというようなことを言い続けています。ぼやいてもしようがないので、そういう仕組みを今度新しく作って、今、国の補助金をお願いしていて、たぶん通ると思っているのですが、少し息の長い話で。そういうふうにドライバーができてくれば、もっと自由に移動できたりしていくようになるし、料金もタクシーよりも遥かに、時間帯によっては安く使えたりするようなものになっていくんじゃないかなと。周遊バスとかもそういう意味で、回せたら回したいんですが、誰が運転するんですかみたいなことをやっぱり、事業者さんに言われてしまうので、そこの課題を解決するために、ちょっと地味なところから、育成から始めていくという状況で、本当に今回の4月の改正というのは、私も心苦しいんですが、まだつくば市はマシなほうだったりして、他の県南の自治体も、県内の自治体も相当苦労したりしている状況がありますので、逆に皆さんのような方がどんどん運転していただいたりとか、空き時間とかね。筑波山の、実は今度やろうとしているのは、神谷さんに相談しながらやったんですけども、まあバスがなくなっちゃうわけなんです。17時とかになるとね。下りて来れない。そういうときに例えば、地域の皆さんが、もちろんちょっと研修を受けていただいて、地域の皆さんが登山客を少し下まで運んでくれるようになれば、皆さんは

それで少し所得を得て、みたいなことを国に提案をしていますので、これが通ったらまた改めて説明会とかできばと思っています。そういうようなことも考えております。ちょっと課題として非常に大きいんですけど、解決していきたいなと思っています。

○参加者 1

市長の考えのもとに、こういった設備をあちこち作ってるわけですよ。これ相当人件費と維持管理費がかかるわけですよ。バブルがはじけた状況を見ると、もうお化け屋敷になってるような施設が相当あるんですよ。そういうふうにならないように、市長これ頑張ってもらわなきゃなんないですよ。もう時間の問題で建物は朽ちりますから。経年変化をしますから。草は黙っても生えるし、肥やしもいらないうです。そんなことでぜひお願いしたいと思って。綺麗に管理をして欲しい。汚いところは私嫌いだから。

●市長

はい。こういうものも、例えばクラフトジンなんか民間がやりますし、民間がやるところ、行政がやるところ、行政がやるとしても民間の力を借りるところ、本当に行政だけでやれないとできないところ、そういう仕分けを全部しながら、適切な管理をしていて、何よりそこにちゃんと人が来てくれれば、管理のね、予算をつけることができますので、そういう良い循環を生み出していきたいと思っています。頑張ります。

○参加者 3

人の問題っていう話をしていますが、境町では無人バス、ああいうものを活用しているんですが。やっぱり、できない理由はいくらでもあると思うんですよ。やるという気持ちがあれば何でもできるんじゃないですか。もう1点は、北部地区の保育所。最終的には北条に1か所に統合するんでしょ？その手始めが小田保育所じゃないですか。

●市長

ありがとうございます。自動運転バスはつくば市でもやっています。ただ、境町…まあ、さっきもちょっと言ったんですけど、走らせているんですけど、毎年1億円の赤字なわけなんですよ。です、ので、別に赤字でずーっとやるんだったらできるんです。でも本当に1億円で自動運転バスを走らせることが町の将来

にとって意味があるんですか、それ続けられるんですか、ということを考えているので、つくば市はなんでもかんでもやればいいのかというのではなくて、ちゃんと採算性をどうやって確保するかと、もちろん公共交通ですから完全な区別は難しいんですけど、そういういろんな工夫を業者さん含めてしながら、どの路線だったら使えるんだらうかというので、まず筑波大で始めているということですので。あの、やればできるんですよ。でも、そこにあまり意味はないし、持続可能ではないということです。それから、北条保育所に集約するという計画は一切ありません。そこは御安心ください。今ある既存の保育所の中で、耐震基準を満たしていないところ、子どもたちが非常にリスクあるところを変えていくためにどうしていくかということを考えて進めた計画ですので沼田なくすとかいう計画は一切ありません。御安心ください。